

2021年度JAMP(日本女性医療者連合)オンライン講座

子宮頸がんから日本の女性を守るために

日時: 2021年11月22日(月)18:30~20:30

形式: オンライン開催

講演「名古屋スタディとHPVワクチン勧奨再開について」

名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野
鈴木 貞夫教授

HPV ワクチンは、日本で、2013年4月に定期接種化されたものの接種後のさまざまな症状への懸念から、同年6月から積極的接種勧奨の差し控えとなりました。世界中からこのワクチンと有効性の報告が相次ぐ中で日本では何も議論されないまま8年以上が経過しました。その結果、2002年以降に生まれた世代では、接種率は1%未満に低下し、現在の状況が続くと、その影響により子宮頸がんはワクチン接種によって世界中の国々で減少する中、日本の女性だけ毎年4000人強の罹患が増加し、1000人強の死亡増加が発生すると推定されています。

講師の鈴木貞夫教授は、接種後のさまざまな症状とHPVワクチンとの因果関係を科学的な疫学研究「名古屋スタディー」で検証され、「両者間に関連はない」と報告されました。

今後の接種勧奨再開に向け、安心できるHPVワクチン接種体制をさらに充実させて国民のワクチンへのご理解が得るために、私たち医療従事者ができることを考えたいと思います。



講師ご略歴

1986年3月 名古屋大学医学部医学科卒業
1990年3月 名古屋大学大学院医学系研究科博士課程(予防医学専攻)修了
1990年4月 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学教室助手
1994年4月 愛知医科大学医学部公衆衛生学講師
1996年4月 Harvard School of Public Health Dept. of Nutrition Visiting Scientist
2001年6月 ハーバード大学公衆衛生学部疫学学科修士課程終了
2003年1月 名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野講師
2010年4月より、現職
専門領域: 公衆衛生学、疫学 2005年 日本疫学会奨励賞



参加無料 要申込 〆切11月20日

右よりお申込下さい:<http://ur0.work/KCzv> QRコード⇒



主催 一般社団法人日本女性医療者連合
<https://www.jampwomen.jp/>

お問合せ先
メール: jimu@jampwomen.jp